

工事現場を活用した校外学習

～境町立猿島小学校の皆さんに工事現場を体感していただくとともに、圏央道について学習し4車線化への理解を深め、建設業への理解、地元への興味・関心、土木業界のやりがい・素晴らしさを学習し体験してもらいました～

< 校外学習実施までの経緯 >

▶ コロナ禍の影響で子供たちは校外学習の場を奪われている。

今年度は、7月に猿島小学校3年生が校外学習を当現場で実施しました。今回は境町での小学生の学習の場として、引き続き、「大きな現場を子供たちに見せたい」と、学校側より要望がありました。

社会科・総合的な学習の時間を使い、授業の一環として、

「日本の工業生産と今と未来」
「わたしたちのふるさと（産業）」
というテーマで、校外学習を5年生に実施することになりました。



5年1組のみなさん



茨城県の農業・製造業、
茨城県のすごいところを勉強しました。

< 感想 >

参加した児童から：たくさんの工事車両を見れて楽しかったです。寒い中働いていてすごいなと思いました。体調に気を付けて頑張ってください。

参加した先生から：児童たちにとって、外へ出る貴重な機会を準備していただき、また工事現場が見れて、よい授業となりました。

今回の校外学習では、児童達にも、わかりやすい説明や資料づくりを心がけたことで、建設業に興味をもって頂けたと感じました。将来の担い手確保につながる貴重な機会となりました。

R2圏央道利根川橋下部その2工事



開催日：2021年12月2日（木）
場所：茨城県猿島郡境町塚崎地先
参加者：境町立猿島小学校
5年生・教員 35名
学習内容：社会科

「日本の工業生産の今と未来」
総合的な学習の時間
「わたしたちのふるさと（産業）」

パワー
ポイントを使い、
学習を
実施
しました。

